

2014 年 4 月 16 日

株式会社QDレーザは、波長1064 nmなど1 μ m帯のDFB(distributed feedback)レーザを搭載した、ピコ秒パルスドライバボードQC2D1x6xシリーズを商品化いたしました。

近年、微細加工用のファイバーレーザでは、駆動電流の直接変調による各種パルス発生が可能な半導体レーザをシード光源とするMOPA(Master Oscillator Power Amplifier)型構成が多く用いられております。ガラス加工やマーキング等の加工品質の改善のため、加工材料への熱的な注入が抑制されるピコ秒領域のパルス適用が進展しており、直接変調で約50 ピコ秒の光パルスが発生可能なDFBレーザである当社QLD1x6xシリーズには多くの注目が集まっております。一方で、半導体レーザを駆動する安定したパルスドライバの実現が一つの課題となっております。

この度、商品化したQC2D1x6xシリーズは、1 μ m帯のDFBレーザQLD1x6xシリーズを搭載し、50ピコ秒の安定した光パルスを発生可能なドライバーボードで、加工用ファイバーレーザ、計測およびセンシング等のアプリケーションに適合しております。本製品により、お客様は簡便にピコ秒パルス動作を実現でき、お客様のファイバーレーザ設計に大きく貢献できると考えております。本商品の特長は以下になります。

- ・ 安定な単一モード性を有するQLD1x6xシリーズのDFBレーザ搭載（発振波長は1020～1180nmから選択可能）
- ・ 50 ピコ秒(典型値)の光パルス発生、および、9 ナノ秒までのパルス幅可変、CW動作可能
- ・ 100 mW(1064nm、50 ピコ秒パルス時の典型値)のピーク光出力
- ・ シングルショットから250 MHzまでの繰り返し周波数可変
- ・ LD温度調整による精密な波長調整
- ・ USBインタフェースによる、すべてのパラメータの制御性
- ・ 5 V単一電源動作

株式会社 QD レーザでは、2014 年 4 月 16～18 日に東京ビッグサイトにて開催される Photonix 2014 (ブース番号 15-10)にて、QC2D1x6x シリーズを展示いたします。

本件に関する報道機関、または、お客様からの問い合わせ

E-mail: info@qdlaser.com Web site: www.qdlaser.com

株式会社QDレーザについて

富士通株式会社と、三井ベンチャーズ(現:三井物産グローバル投資株式会社)の出資で2006年4月に設立されました。本社は神奈川県川崎市です。株式会社QDレーザは、10年以上にわたる富士通研究所と東京大学との産学連携による共同開発を基に、可視光領域から波長1.3 μ m帯までの量子ドットレーザをはじめとする高性能の半導体レーザの開発・製造・販売を行います。詳しい情報はホームページ(www.qdlaser.com)にてご覧下さい。

リリースの記載内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。本文に記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。